

2024年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	子ども家庭支援の心理学		教員氏名	矢野由佳子		
科目ナンバー	Ⅲ-6-3-2					
学年	1年		開講学期	後期		
授業形態	講義		単位数	2単位		
必修・選択	保育士必修		実務経験	臨床心理士・公認心理師	18年	
テーマ	生涯発達、家族関係の発達に関する心理学的な知識を身につける					
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。				○	
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。				○	
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。					
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する				
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う				
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける				○
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う				
授業の概要	この授業は発達心理学、臨床心理学の理論を踏まえて生涯発達の観点から乳幼児期以降の発達課題等を学びます。親子関係、親としての育ち、ライフコースと仕事・子育て、多様な家庭の在り方、子どもの精神保健について視聴覚教材等を使用して学び、子どもと家庭を包括的に捉える視点を理解します。授業担当者は臨床心理士として保育園、小児科での勤務経験があり、その経験をもとに保育者が行う子どもと家庭の支援について概説します。					
授業の到達目標	1. 生涯発達に伴う心理的变化を論じることができる。					
	2. 親としての発達、家族としての発達を捉える観点と関連づけて、保育者が行う家庭支援を論じることができる。					
	3.発達支援の基本となる姿勢に基づいた保育実践ができる。					
テキスト	青木紀久代編「子ども家庭支援の心理学」みらい					
参考書	幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領					
ポートフォリオ						
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○	
	リアクションペーパーを用いて、授業内での疑問等を対話形式にて対応する				○	
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				○	
	ICT(グループクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				○	
	その他:					
成績評価方法	区分	割合(%)	内容			
	定期試験	0	実施しない			
	授業内課題 参加度 出席態度等	100	授業内で行う達成度確認テスト70%。授業態度と意欲30% (授業態度と意欲には授業内レポートへの取り組み状況、内容を含む)			
	その他					

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	生涯発達とは何かーライフコースとライフサイクルー	
	授業外学習	<予習>シラバスを熟読する。 <復習>人の一生を発達的に捉えることの意義を確認する。	210分
第2回	テーマ 内容	生涯発達から見た心の問題と家族	
	授業外学習	<予習>教科書を読み、子どもと家族を取り巻く社会からの影響を捉える。 <復習>エコロジカルモデルについて確認する。	210分
第3回	テーマ 内容	学童期前期の発達	
	授業外学習	<予習>教科書を読み、学童期前期の発達の姿を捉える。 <復習>幼保小の接続、学童期前期の発達課題と援助について確認する。	210分
第4回	テーマ 内容	学童期後期の発達	
	授業外学習	<予習>教科書を読み、学童期後期の発達の姿を捉える。 <復習>仲間関係の発達、学童期後期の発達課題と援助について確認する。	210分
第5回	テーマ 内容	青年期の発達	
	授業外学習	<予習>教科書を読み、青年期の発達の姿を捉える。 <復習>自我同一性(アイデンティティ)の発達、青年期の発達課題と援助について確認する。	210分
第6回	テーマ 内容	成人期の発達	
	授業外学習	<予習>教科書を読み、成人期の発達の姿を捉える。 <復習>成人期の発達課題と援助について確認し、自分自身の今後のライフコースを考える。	210分
第7回	テーマ 内容	老年期の発達	
	授業外学習	<予習>教科書を読み、老年期の発達の姿を捉える。 <復習>老年期の発達の側面、老年期の発達課題と援助について確認する。	210分
第8回	テーマ 内容	子育て家庭を取り巻く社会的状況	
	授業外学習	<予習>子育てにまつわる新聞記事などを収集する。 <復習>子育て家庭を捉える様々な視点を確認し、保育者が行う子育て支援を考える。	210分
第9回	テーマ 内容	家族・家庭の意義と機能	
	授業外学習	<予習>教科書を読み、家庭形態の多様性を捉える。 <復習>多様な家庭形態について理解したことをレポートにまとめる。	210分

第10回	テーマ 内容	ライフコースと子育て	
	授業外学習	<予習> 自分自身の将来の展望として仕事や子育てにどう関わりたいか考える。 <復習> 様々なライフコースの在り方を確認する。	210分
第11回	テーマ 内容	特別な配慮を要する家庭	
	授業外学習	<予習> 教科書を読み、家庭支援の意義を捉える。 <復習> 様々な家庭の姿やその支援について考えたことをレポートにまとめる。	210分
第12回	テーマ 内容	子どもの精神保健	
	授業外学習	<予習> 教科書を読み、子どもの精神保健に影響する要因を捉える。 <復習> 子どもの心身の健康と環境の影響について確認する。	210分
第13回	テーマ 内容	まとめ 保育者として子どもと家庭を支援することの意義	
	授業外学習	子どもの心と家族の発達について振り返り、保育者の役割を総括する。	210分

課題に対するフィードバックの方法

提出された授業内レポートは、次回授業時に口頭やプリントにてフィードバックを行う。また、担当教員のオフィスアワー(水曜日昼休み)に質問を受け付ける。